

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	電子制御4年	科目コード	49311551
科目名	実務訓練 Internship				
担当教員	堀内 富雄,小野 伸幸				
単位数(時間数)	必選 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応	(F-1)(G-2)		
授業の目的と概要	企業・機関などにおける学外実習を通じて、専門分野に関連した業務を積極的に行い、その中より実践的な技術感覚を体得するとともに、技術者として必要な適応力を養う。また企業・機関などでの実習体験から、今後の学生生活での学習意欲の向上と、進路決定の一助とする。				
先修科目					
後修科目	生産工学				
備考	各事業の詳細や実施時期は、履修説明の際に配布する実施要項で確認すること。実習先は、原則として帰省先から通勤可能な範囲とする。7月に各自保険に加入するが、期間により費用は異なる。				
	授業項目	時間	内容		
1	履修の説明	2	インターンシップの意味を理解する。		
2	インターンシップ事業1 企業説明会	2	実習受け入れ企業・機関の方に、実習をする上で必要なことなどについて説明していただき、実習テーマと企業選択の研究を行う。		
3	インターンシップ事業2 研修会	4	実務訓練の前に、実務訓練への心構え、事前打ち合わせについて学び、企業・機関の方と打ち合わせができる。		
4	インターンシップ事業3 実務訓練		実習機関にて10日以上の実習を行う。実践的な技術感覚を養い、積極的に実習を行うことができる。		
5	インターンシップ事業4 報告会	4	実習の内容や実習で得られたこと、後輩へのアドバイスを中心にまとめて適切な報告書等を作成することができる。また、わかりやすく説明することができる。		
6	学科内での報告会	2			
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	専門分野に関連した実践的な業務に携わり、業務の概要を説明できることで(G-2)の達成とし、報告書の提出と報告会での発表で(F-1)の達成とする。				
成績評価	実務訓練先からの実習証明書(70%)で(G-2)を、提出された報告書(15%)と報告会の発表内容(15%)で(F-1)を評価し、それぞれの目標に対して60点以上獲得した者がこの科目の合格とする。				
教材	参考書：実務訓練の手引				
オフィスアワー	毎週水曜日16:00～17:00, 電子制御工学科棟 学科長または学級担任の教員室				